



名称	沼田東出土中世船の船底材
よみがな	ぬたひがししゅつど ちゅうせいせんのせんていざい
指定	市指定
種別	重要文化財
種類	考古資料
所在地	円一町二丁目 3-2
所有者	三原市歴史民俗資料館
員数	1 艘
指定年月日	昭和 56 年(1981)10 月 21 日
構造形式	木造 ムクノキ材
法量	長さ 690cm 幅(中央部)90cm
時代	室町時代
公開状況	開館時間 9 時 30 分～17 時 国民の休日・年末年始 (12 月 28 日～1 月 4 日)は休館
交通案内	JR三原駅から南へ約 1km

【解説】

この船底材は、昭和 50 年(1975)1 月、県のほ場整備事業中に沼田東町七宝を流れる郷中川の川床約 1m 下から発見されました。

この船は、一本の丸太材を半截して表皮の側を船底とし、割截面を上にして中を削りぬいたものです。内面には、かなり手が加えられており、舷の側面に手斧の痕跡がよく残っています。舷の上面には、角釘が約 30 本打ち込まれています。